

キウイフルーツ雄木の加温栽培

2月下旬から加温することで収穫時期の分散化が可能

キウイフルーツ花粉採取専用園では花蕾採取時の雨を防ぐためにビニルハウスで栽培している。収穫のピーク時に労働力が集中することを防ぐため、加温栽培による収穫時期の分散化を検討した。

試験方法

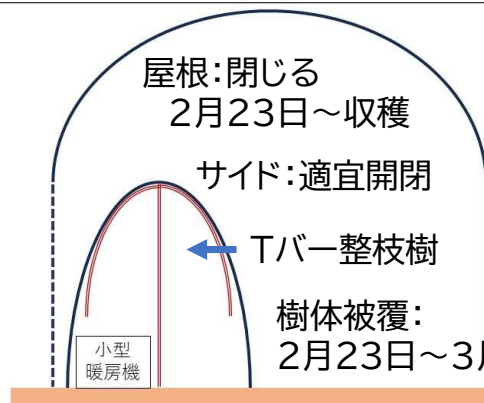
ビニルハウスの屋根を2月23日から収穫時まで閉じ、サイドは適宜開閉。

・POフィルムで樹体を覆い、小型暖房機を設置。
設定温度により15℃区、5℃区を設けた。

・樹体被覆を行わない無被覆区設けた。

対照区(別のビニルハウス)

収穫期のみ屋根を閉じ、サイドは開けて管理



フィルム除去直前の15℃区の状況
(2025年3月27日)

表1 加温が‘チーフタン’の発芽、展葉、開花、新梢発芽率、花蕾数、花粉採取量および花粉発芽率に及ぼす影響

処理区	発芽日 (月/日)	展葉日 (月/日)	開花日 (月/日)		新梢発芽率 (%)	花蕾数 (個/1新梢)		花粉採取量 (g/100花蕾)		花粉発芽率 (%)	
			始期	盛期		中心花	側花	中心花	側花	中心花	側花
15℃区	3/19	3/23	5/ 7	5/14	82.0	5.1	5.8	0.77	0.55	87.8	87.4
5℃区	3/26	3/30	5/13	5/18	84.2	5.6	5.3	0.85	0.54	88.0	85.7
無被覆区	3/28	4/ 1	5/10	5/16	76.9	5.0	7.9	0.99	0.56	88.2	88.2
対照区	3/27	4/ 4	5/17	5/20	62.9	5.4	10.2	0.82	0.32	92.6	90.0

表2 被覆期間中の温度平均値
(単位:℃)

試験区	日平均	日最高	日最低
15℃区	19.0	34.9	12.5
5℃区	16.5	34.3	8.6
無被覆区	11.5	22.7	5.4
対照区	10.4	18.0	5.1

収穫時期の分散化に有効

対照区

屋根:開
サイド:開



無被覆区

屋根:閉(2月23日～収穫)
サイド:適宜開閉



15℃区

屋根:閉(2月23日～収穫)
サイド:適宜開閉
+
樹体被覆、最低温度12.5℃

ただし、花数の減少と中心花の花粉採取量の減少がみられた